



江工関東遊歩クラブの皆様へ

幹事A40 河野 一史
E47 千代延 武

報告

今年の秋は何々天候が安定せず、毎週のように台風が発生し日本列島に被害が多発し、特に伊豆大島では多数の死傷者と壊滅的打撃を受けました、ご冥福をお祈り申し上げます。

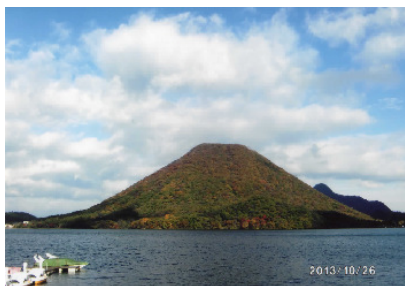
台風27号が関東地方に接近中の10月26日、前日の午後急遽出発時間を2時間遅らせて、東京駅10時12分発の上越新幹線で高崎へ、バスに乗換え予定を変更した、目的地の榛名神社に到着した時には、空は青空となり、ここちよい秋風が吹いて来ました。岩山と渓谷に挟まれた参道に点在する、パワースポットに運氣をもらい、1400年の歴史を持つ社殿に参拝し、つづら岩・鞍掛岩に紅葉と青空がベストマッチでした。

再度バスに乗り15分で榛名畔に到着、此々でも湖畔に映える榛名富士(榛名山1391m)はみごとに色付き、ビューポイントに夢中でシャッターを押しました、湖畔の宿記念公園に立寄り、湖を半周し40分歩いて宿に到着、ビールを一杯飲んで、向いの姉妹宿にて湖面レベルの湯舟で夕暮のひと時ゆっくり温泉に浸りました。

宿にもどり飲み放題で目一杯いただき、料理を食べつくし残った飲物を持って、部屋にもどり乾物をあてに十分楽しみました。

翌日はバイキングで朝食を頂き二班に別れて出発しました、清々しい風が少し肌寒く湖面も大きく波立っています、湖面の波打ち際の遊歩道を進み榛名山の山懐を迂回し、ゆうすげ園の木道より松え沢峠から登山道に入り、七曲峠へとどこまでも続く木の階段の昇り降りは、はずかしながら私が一番バテました、最初の頃は50段おきに一休みしていたのですが、最後の頃は15段で息が切れてしまいました、それでもやっと天目山の山頂に到着、ベンチで一休み榛名山の反対側の山々の展望がすばらしく全山の紅葉がみごと、重い腰を上げて最後のピーク氷室山に着いた時には、ヒザが笑い、カメラを持つ手のふるえが止まりませんでした。

下山後湖畔の食堂で別の班と合流し、ビールで乾杯昼食をいただきゆっくりと時間を過ごしてバスで高崎に向い、高崎より快速湘南ライナーで帰路につきました。



参加者：盆子原(C34)福間(P34)岸(C37)河野(A40)新田(A46)千代延(E47)

H25. 11. 5